



平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月8日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	36,549	3.8	4,082	14.9	4,052	18.2	3,063	13.6
29年12月期第1四半期	35,198	5.8	4,799	18.8	4,952	19.3	3,546	30.7

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 578百万円 (86.4%) 29年12月期第1四半期 4,243百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	23.27	
29年12月期第1四半期	26.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	234,285	186,212	77.5
29年12月期	239,338	187,487	76.3

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 181,455百万円 29年12月期 182,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		13.00		13.00	26.00
30年12月期					
30年12月期(予想)		14.00		14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,000	1.8	8,300	5.6	8,800	6.2	6,200	5.8	47.10
通期	149,000	3.0	17,500	0.3	18,200	1.6	13,000	0.7	98.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	131,996,299 株	29年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	30年12月期1Q	362,563 株	29年12月期	361,663 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	131,634,071 株	29年12月期1Q	131,642,721 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年3月31日まで）における当社グループの業績は、売上高は365億4千9百万円（前年同期比3.8%増収）、営業利益は40億8千2百万円（前年同期比14.9%減益）、経常利益は40億5千2百万円（前年同期比18.2%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億6千3百万円（前年同期比13.6%減益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

① 基幹化学品事業

電解製品は、一般的に販売数量が堅調に推移したほか昨年実施したカセイソーダの値上げが寄与し増収となりました。アクリルモノマー製品は、主要原料価格の上昇に伴い製品価格の是正を進めたことなどから増収となりました。工業用ガスは、好調な需要に支えられ増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は175億1千6百万円（前年同期比6.8%増収）となりました。

営業利益は、アジア市場におけるアクリルモノマー製品の採算悪化や修繕費などの固定費増加から、14億2千7百万円（前年同期比18.8%減益）となりました。

② ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、車載用材料や粘接着剤などに使用される高付加価値製品の販売が好調に推移し増収となりました。アクリルオリゴマーは、海外市場での販売好調などから増収となりました。高分子凝集剤は、販売数量の減少により減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は70億6千2百万円（前年同期比4.4%増収）となりました。

営業利益は、アクリルポリマーとアクリルオリゴマーの増販効果はありましたが、原料価格値上がりによる変動費の上昇や海外子会社での固定費増加などが利益を圧迫し、9億4千7百万円（前年同期比14.3%減益）となりました。

③ 接着材料事業

瞬間接着剤は、コンビニエンスストア向けや工業用途向けなど国内販売は堅調に推移しましたが、海外市場での販売不振や円高の影響などから減収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末などに使用される反応型接着剤の販売が低調に推移したことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は28億2千2百万円（前年同期比3.0%減収）となりました。

営業利益は、瞬間接着剤の海外市場での減販や機能性接着剤の減販の影響などから、6億2千6百万円（前年同期比14.0%減益）となりました。

④ 高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、半導体向けの旺盛な需要が継続し液化塩化水素の販売が好調に推移したことから増収となりました。無機機能材料は、機能性衣料などに使用される消臭剤の販売は堅調でしたが、電子部品などに使用される一部製品の販売が低調だったことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は19億2千7百万円（前年同期比3.7%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機製品の増販効果はありましたが、固定費の増加や無機機能材料の減販などから、5億9千2百万円（前年同期比1.2%減益）となりました。

⑤ 樹脂加工製品事業

管工機材製品は、新規住宅着工戸数の減少など販売環境の悪化により減収となりました。建材・土木製品は、新規物件を獲得したことなどから増収となりました。ライフサポート製品は、新製品の販売が寄与し増収となりました。エラストマーコンパウンドは、ほぼ前年並みの販売となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は64億7千4百万円（前年同期比1.1%増収）となりました。

営業利益は、ライフサポート製品は増益となりましたが、管工機材製品やエラストマーコンパウンドの原材料価格が上昇したことなどから、4億2千2百万円（前年同期比21.6%減益）となりました。

⑥ その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は7億4千6百万円（前年同期比13.4%減収）、営業利益は6千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は、株価の下落に伴い「投資有価証券」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ50億5千2百万円、2.1%減少し、2,342億8千5百万円となりました。

負債合計は、設備未払金の支払により流動負債の「その他」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ37億7千7百万円、7.3%減少し、480億7千2百万円となりました。

純資産合計は、「その他有価証券評価差額金」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ12億7千5百万円、0.7%減少し、1,862億1千2百万円となり、自己資本比率は77.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の業績予想につきましては、平成30年2月8日に公表した予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,636	29,446
受取手形及び売掛金	42,583	41,327
有価証券	47,000	46,000
たな卸資産	16,005	16,339
その他	2,083	1,932
貸倒引当金	△35	△36
流動資産合計	137,273	135,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,579	18,427
機械装置及び運搬具(純額)	20,762	19,944
土地	17,210	17,199
その他(純額)	6,110	6,940
有形固定資産合計	62,663	62,513
無形固定資産		
	505	578
投資その他の資産		
投資有価証券	35,238	32,203
退職給付に係る資産	1,934	2,013
その他	1,738	1,982
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	38,896	36,184
固定資産合計	102,064	99,276
資産合計	239,338	234,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,149	14,864
短期借入金	6,503	6,502
未払法人税等	2,124	880
引当金	17	826
その他	13,238	10,897
流動負債合計	37,032	33,972
固定負債		
長期借入金	5,647	5,647
退職給付に係る負債	162	164
その他	9,008	8,288
固定負債合計	14,818	14,100
負債合計	51,850	48,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,498	16,499
利益剰余金	130,488	131,840
自己株式	△289	△290
株主資本合計	167,584	168,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,082	10,965
為替換算調整勘定	1,884	1,473
退職給付に係る調整累計額	73	82
その他の包括利益累計額合計	15,040	12,520
非支配株主持分	4,862	4,757
純資産合計	187,487	186,212
負債純資産合計	239,338	234,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	35,198	36,549
売上原価	24,482	26,381
売上総利益	10,716	10,167
販売費及び一般管理費	5,917	6,085
営業利益	4,799	4,082
営業外収益		
受取利息	17	17
受取配当金	90	37
持分法による投資利益	114	69
固定資産賃貸料	18	72
その他	60	31
営業外収益合計	301	227
営業外費用		
支払利息	23	23
為替差損	70	153
環境整備費	25	36
遊休設備費	18	14
その他	10	29
営業外費用合計	148	257
経常利益	4,952	4,052
特別利益		
補助金収入	34	323
固定資産売却益	369	—
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	410	323
特別損失		
固定資産処分損	141	10
特別損失合計	141	10
税金等調整前四半期純利益	5,221	4,365
法人税等	1,589	1,241
四半期純利益	3,632	3,124
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,546	3,063

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	3,632	3,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	805	△2,120
為替換算調整勘定	△220	△433
退職給付に係る調整額	25	8
その他の包括利益合計	610	△2,545
四半期包括利益	4,243	578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,164	543
非支配株主に係る四半期包括利益	78	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	16,399	6,763	2,910	1,858	6,405	34,337	861	35,198	—	35,198
セグメント間の内部 売上高または振替高	907	287	141	7	0	1,343	1,740	3,084	△3,084	—
計	17,306	7,051	3,051	1,865	6,405	35,681	2,602	38,283	△3,084	35,198
セグメント利益	1,756	1,105	727	599	539	4,729	69	4,799	0	4,799

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	17,516	7,062	2,822	1,927	6,474	35,803	746	36,549	—	36,549
セグメント間の内部 売上高または振替高	970	292	116	12	4	1,395	1,418	2,814	△2,814	—
計	18,487	7,354	2,938	1,939	6,478	37,199	2,164	39,363	△2,814	36,549
セグメント利益	1,427	947	626	592	422	4,016	60	4,076	5	4,082

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。